

### 『松助くん』で、JWcad のデータを利用する場合

- ① ディスプレイの解像度を、フルHD(1920×1080)以上にすることを推奨いたします。
- ② ディスプレイの拡大縮小とレイアウトを、100%にすることを推奨いたします。
- ③ システム>ディスプレイで、「表示画面を拡張する」にして2画面で使用する。  
左画面を『松助くん』で、右画面を『JWcad』にすると画面操作がやりやすくなります。  
上記①②③はあくまでも推奨です。
- ④ JWcad がインストールされていること、対象 JW データが存在することが必須です。

JWcad データが使用できるのは、

02 通り芯図作成、03 柱伏図作成、04 壁伏図作成、05 領域境界線属性、07 梁伏図作成、  
08 基礎伏図作成、です。基礎伏図作成では「独立基礎」のみに使用できます。

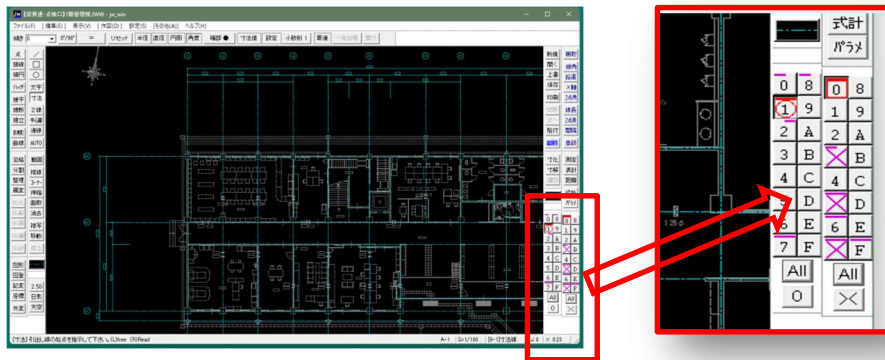
ここで「クリップボード」について説明します。クリップボードは「文字列や画像を一時的に保管する場所」です。①範囲を選んで、②「コピー」をクリックした時に保管されます。今回は上記①②の前に「基準点変更」が必須になりますので。

1、範囲を選ぶ 2、基準点変更 3、コピークリックという操作になります。

これで、JW データをクリップボードに保管した状態になります。

それでは JWcad 画面の右下に注目して下さい。

JWcad のレイヤとレイヤグループが表示されています。



左がレイヤ、右がグループです。

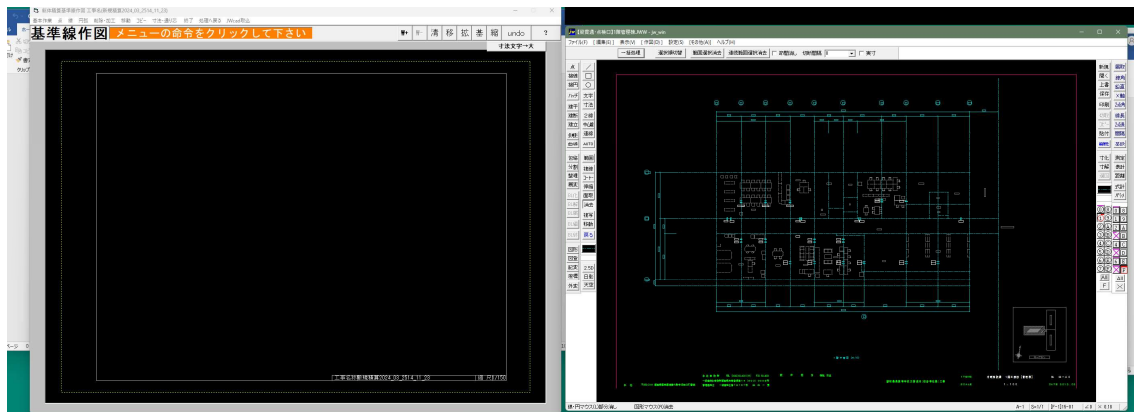
JWcad には、各 16 グループに 16 のエリア、つまり  $16 \times 16 = 256$  のエリア層を設定できます。すごい機能ですね。エリア層の機能を理解することが、基本になります。このグループ、エリアの概念をうまく理解して『松助くん』で使っていきましょう。

使用する JWcad データは「ラーメン意匠 1 階平面図 JWww」です。

それでは、02 通り芯図作成で具体的に JWcad データを使っていきましょう。

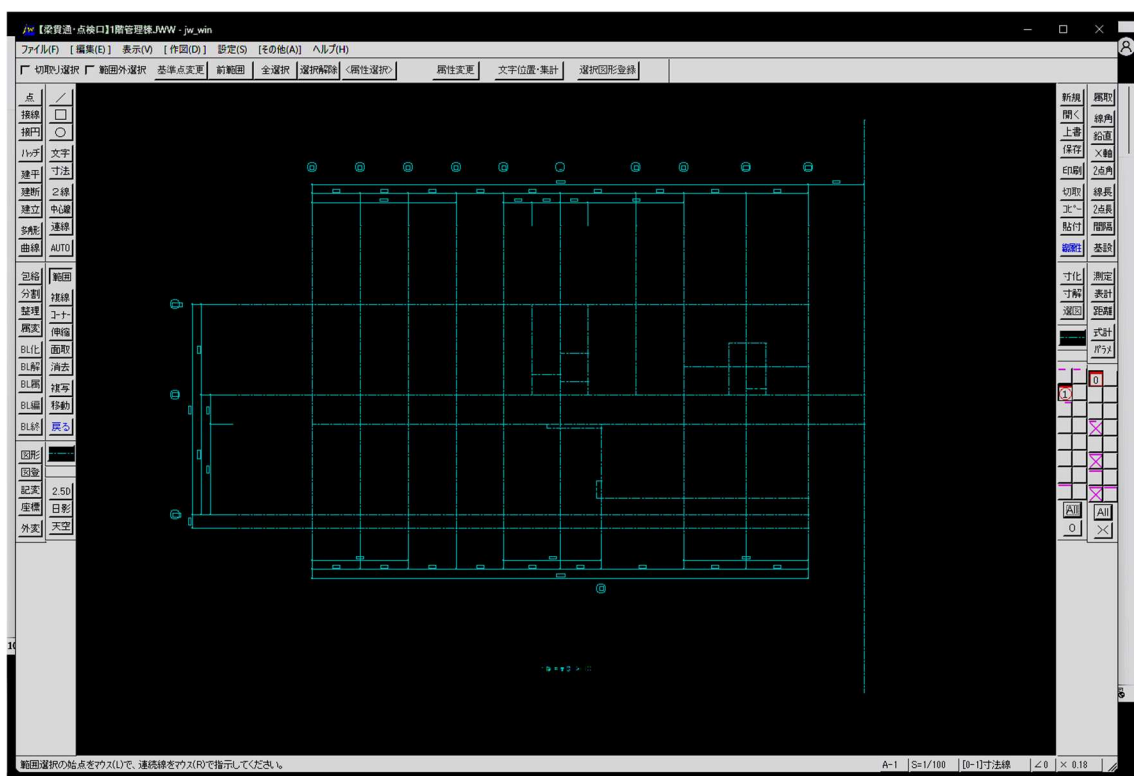
## JWcad からのデータ読み込み、貼り付け

『松助くん』の画面は真っ黒で、JWcad 画面にはファイルが読み込まれている状態です。



『松助くん』の縮尺は自動的に 1/150 となっており、JWcad では 1/100 になっています。今は気にしなくてもいいです。

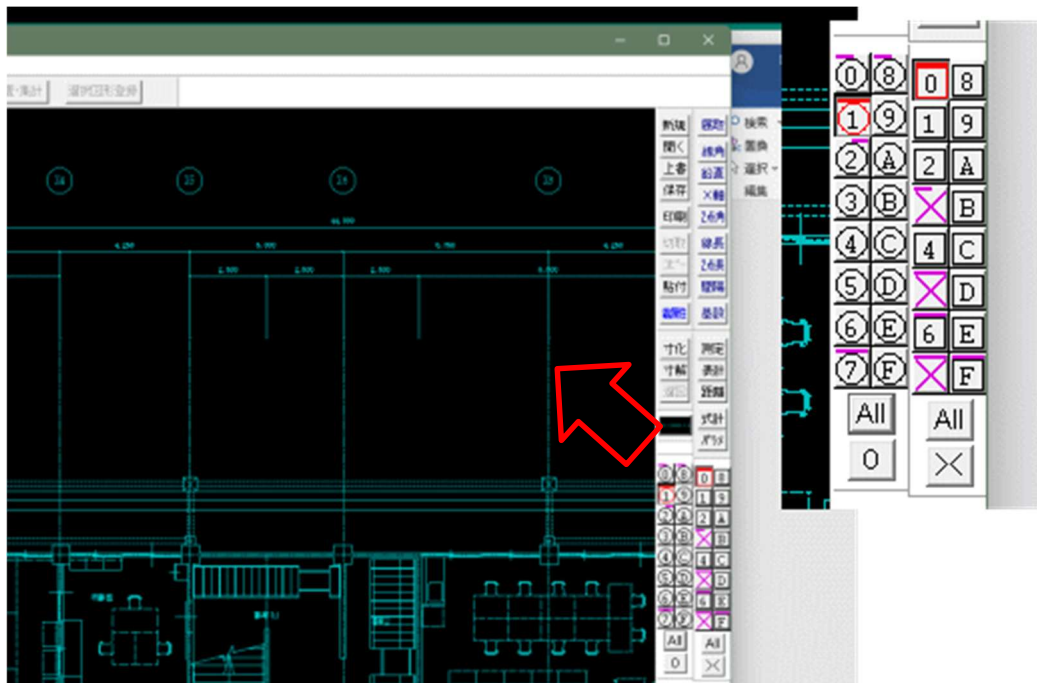
JWcad 画面では、全部のレイヤが表示されている状態です。ここからレイヤを選んで、下のようなデータを取り出せばいいわけです。



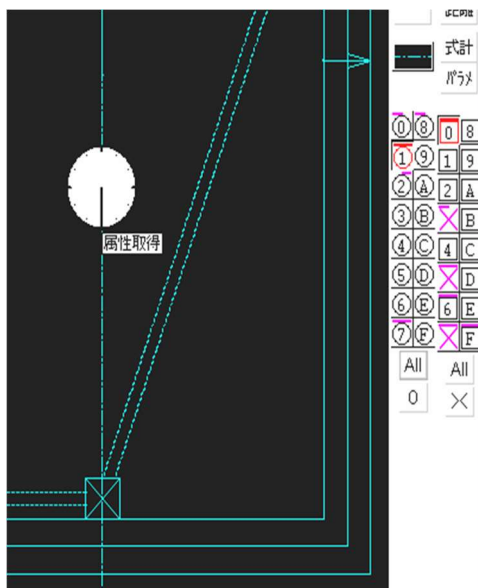
上の画像で寸法線や通り芯名称も映っていますが、『松助くん』から言わせると何にもならないので「法線や通り芯名称は除く」のがコツになります。それはあとで説明します。

すべてのグループ・エリア層が表示されています。

数あるグループやエリア層の、どの層に通リ芯線が描かれているかを調べるために明らかに通り芯である線を左クリックして真下にドラッグします。



すると、時計模様の図形が表示され、「属性取得」でこの線がどのグループ・エリアに描かれているか、左右の表、赤○赤□表示されます  
左のグループ、レイヤ表示図で、通り芯線は



①グループの①エリアに描かれているのが分かります。

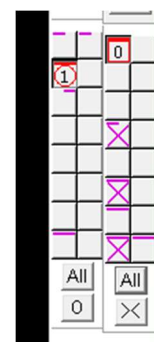
そこで、

下のほうのグループの All をクリック

エリアの All をクリックして

エリア表示を、①グループと①エリア

だけにします。

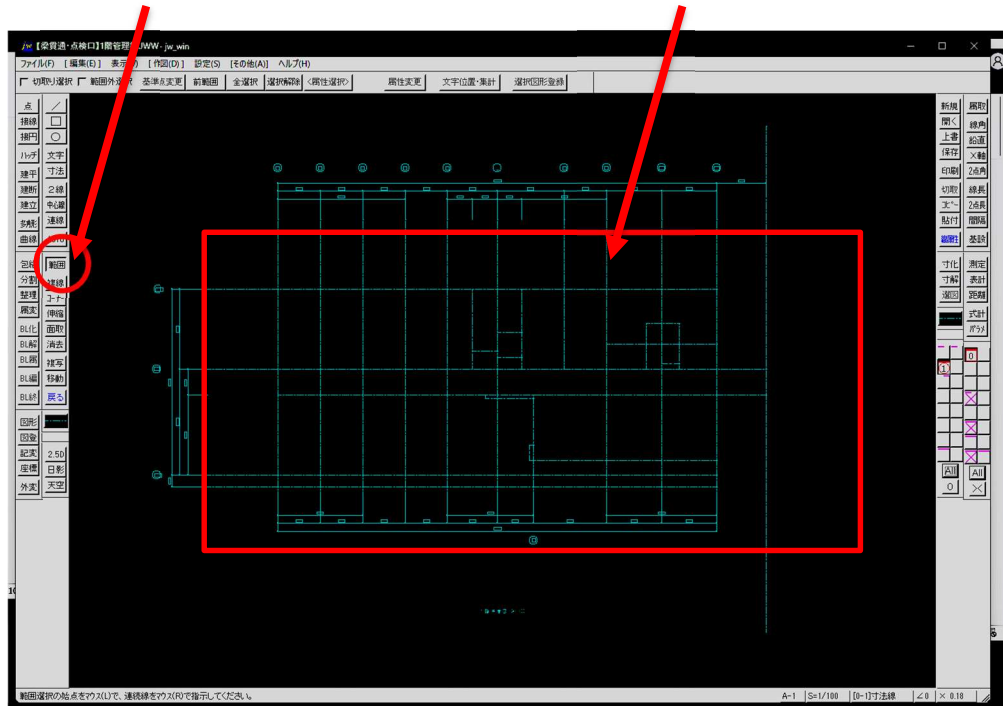


ここで、JWcad 画面のカーソルを描画領域に移動すると

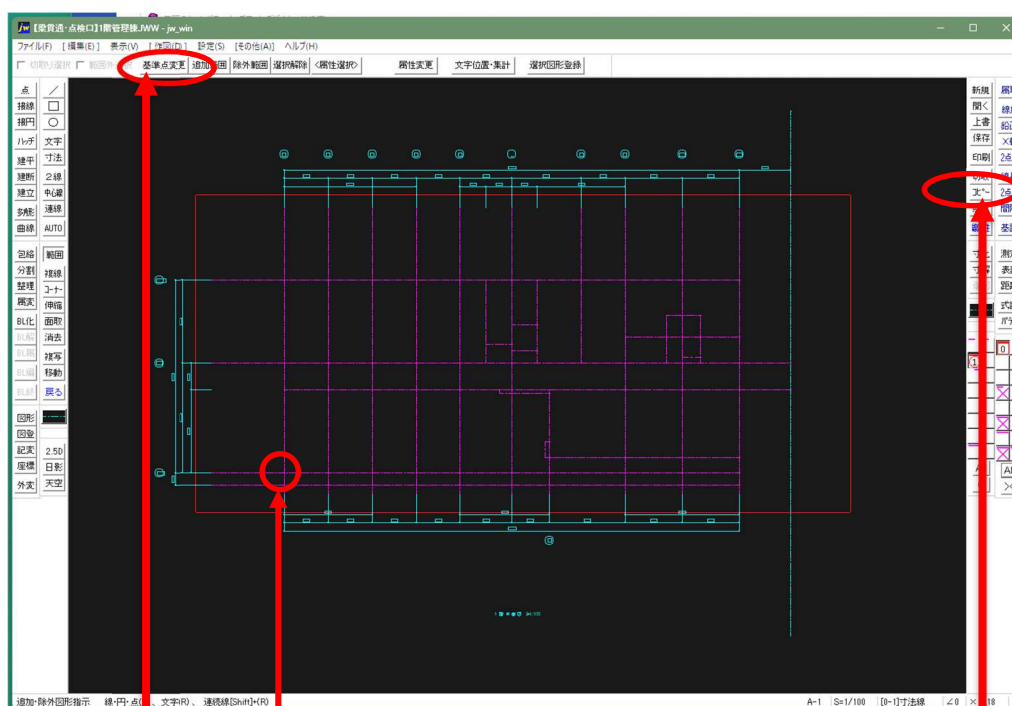
通り芯だけのデータが

取り出せるようになります。

次に、「範囲」をクリックし、寸法線を含まない範囲を囲みます。



色が変わって通り芯線が選択されました。↓



その次に「基準点変更」をクリックし、基準点を指示します。基準点は、線の端点、線の交点、などどちらでもいいですが、今回はこの通り芯の交点にしました。

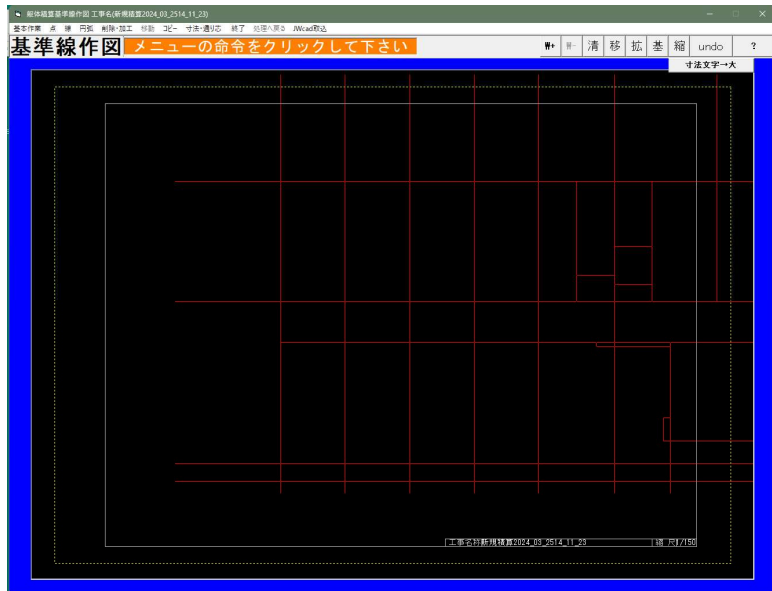
『JWCad』で端点・交点を指示するのは右クリックです。

さらに、「コピー」をクリックして

やっと上図のピンク色の線が「クリップボード」に格納されました

今度は『松助くん』の「基準線作図」の画面です。「JWcad 取り込み」をクリックします。クリップボードがカラの場合、警告されます。

JWcad データがマウスに引っ張られて表示されますが、松助くんの縮尺が 1/150 のため JWcad データが大きくはみ出しています。



この場合、『松助くん』の基本設定クリック→縮尺設定クリックで 300 とか 250 とか数値を入力して下さい。何回でも入力できます。今回は 250 がいいバランスだと思います。

寸法線や寸法文字、通り芯名称は JWcad から取り入れることはできません。

『松助くん』の「寸法→線間寸法」や「通り芯名称」を使って仕上げて下さい。

